

里区に係する略年表¹

弥生時代後期 高地性集落(塚原遺跡・蔵持町里)が出現

672年 日本書紀に「隠(なばり)の駅家を焚き」

1089年 築瀬村が東大寺の保となる

1180年 東大寺文書に「築瀬御庄字クラモチ²」の記載

1581年 織田信長が伊賀国を支配

1608年 藤堂高虎が伊賀の領主に

1871年(明4) 廃藩置県により安濃津県(のち三重県)設置、名張郡が所属

1880年(明13) 築瀬村を名張村と改称

1889年(明22) (明治の大合併)名張郡に名張町・滝川村・錦生村・箕曲村・薦原村・蔵持村³・比奈地村・国津村が発足(→右図)

1942年(昭17) 蔵持村・薦原村・箕曲村を名張町に合併

1954年(昭29) (昭和の大合併により)名張市誕生

1959年(昭34) 伊勢湾台風上陸、市内で死者11名他未曾有の被害を受ける

1963年(昭38) 蔵持に名張初の工場誘致

1972年(昭47) 蔵持小学校新校舎完成

1973年(昭48) 蔵持小学校旧校舎が明治村に再現

1977年(昭52) 蔵持黒田遺跡(原出)で弥生時代の集団居住跡や土器発見

1979年(昭54) 蔵持原出の春日神社の「十三重塔」を市文化財に指定

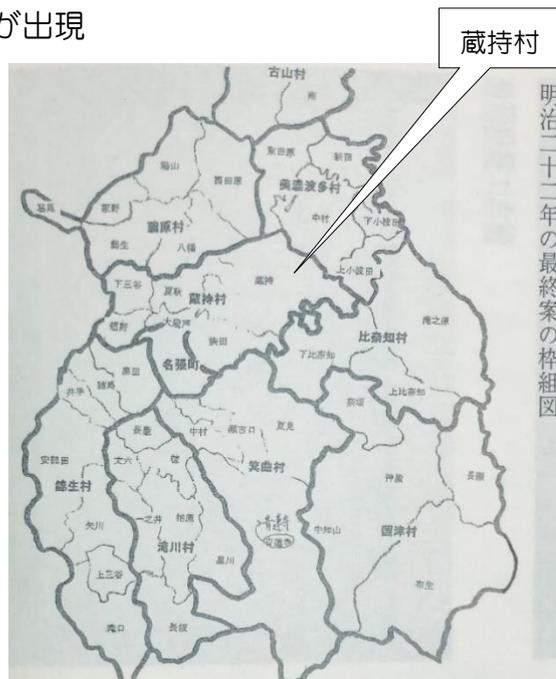
1981年(昭56) 蔵持公民館完成

2003年(平15) 「伊賀地区六市町村との合併の可否を問う市民投票」実施、合併反対が多数

2006年(平18) 中央浄化センター、防災ステーション完成

2008年(平20) 武道館いきいき

2009年(平21) 里コミュニティセンター完成(公民館の移転)



* 現在の蔵持町は、明治以降、大きくは三度の合併を巡る激論を経て編成

¹ 「おきつもの名張 今と昔」より恣意的に抜き出したもので、体系的なものではありません。

² 蔵持地区の名前の由来は、古代の名族車持(クルマチ)に通じると考えられています。(「名張市史」より)

³ 蔵持村は、旧6村(下三谷、短野、夏秋、大屋戸、蔵持、狭田)が合併して編成